

総務委員会だより

■ 期待されるセンターの実現に向けて

総務委員会 担当理事 綿崎 健

平成25年度定時総会で役員に選任いただき、そして、その後の理事会において、専務理事に選ばれました。引き続き大役を担わせていただくことになりました。宜しくお願いします。

公益社団法人に移行して早くも1年が経過しました。会員の皆さんの日頃の就労には影響がないように見られますが、「公益法人」への移行は、社会に公的な仕事をしていると認められたこと、また、税法上の取り扱いなど対社会的には大きな変化です。言い換えれば、事業は収益を第1に考えないで、「地域の皆さんに気持ち良くシルバーを利用してもらいなさい」ということだと思っています。

現在、シルバー人材センターを取り巻く環境は大変厳しいものがあります。第1点目は、年金の支給開始年齢が65歳に引き上げられたこと。このことは老後も働かざるを得ない高齢者の増加を呼び、シルバー人材センターへの入会者は増加が予想されます。また、

企業の定年延長等を義務付けられた為、企業内において、高年齢者の働く場の確保のため、現在シルバー人材センターに出していた仕事を抱えるようになり、受注業務の減少が懸念されます。

第2点目は、国の厚生労働当局による、全国のシルバー人材センターに対する適正就業指導が順次実施されており。今まで請け負ってきた業務の中で請負契約に馴染まず、改善が困難な案件については、今後は契約解除を念頭に置かなければならなくなります。

このような厳しい状況下に置かれていますが、多くの会員が就業ができますよう、就業機会の維持と拡大、安心して就業できる環境の整備など、「地域に期待される」「発注者から期待される」「会員に期待される」センターの実現に向け役職員とともに、微力ですが取り組んでいきたいと思っております。会員の皆様方のご理解とご協力をお願いします。

広報委員会だより

■ 挑戦

広報委員会(普及啓発、緑化推進) 担当理事 田中 裕雄

当シルバー人材センター都市緑化事業の一つであります出前講習会を6月から7月にかけて町内4か所でおこないました。講習会のテーマは「草花を育む種の蒔き方育て方と管理のコツ」です。

J A 京都やましろ花卉部会の生産者即ちプロとしての経験豊かな方々を講師として招き育種、育成、移植と今まであまり経験のない新しい分野に挑

戦して頂きました。参加者からも種からの挑戦、形になった時の喜びは今までよりはるかに大きい財産になるだろうとの声がありました。これからも普及啓発緑化推進事業を展開して参ります。

また皆様に気軽に参加していただけるよう各種講習会等にも取り組んで参ります。

■ 「出前講習会」を開催しました

開催日 平成25年6月19日、22日、29日、7月3日

開催場所 精華町内各小学校区単位(全4箇所)

講師 J A 京都やましろ精華町花卉部会 会員

受講者 44名

都市緑化事業として、今年3回目を開催しました。

今回は、精華町内の花苗生産者であるJ A 京都やましろ精華町花卉部会会員に講師をお願いし、「草花を育む」をテーマに、「種のまき方育て方と管理のコツ」について、講習を行いました。

